報道関係者各位
NEWS RELEASE

にぎわい東北
― つなげよう、ふるさとのチカラ

COX COMPANY LIMITED
2016年3月18日
株式会社コックス

震災から5年、お客さまのまごころをさくらの木に託し続けます。

3/26（土）、福島県新地町での「さくら並木プロジェクト植樹会」に参加します

支援対象商品の販売により、累計7本を東日本大震災の被災地に寄贈

株式会社コックス（本社：東京都中央区日本橋浜町 1-2-1、代表取締役社長：吉竹英典）は、**2016年3月26日（土）、福島県新地町で開催される「さくら並木プロジェクト×オーガビッツ植樹会」に参加**します。この度の植樹会では、東北復興支援の一環として当社が参加する**「さくら並木プロジェクト」2015年度支援商品の販売により、1本のさくらの苗木を植樹**いたします。

また、この度の植樹会のほか、**2015 年度の寄付によりさらに 2 本の苗木を同プロジェクトへ順次寄贈**する予定です。**当社のさくらの寄贈・植樹本数は、累計7本**となります。

■10年後、100年後の東北の未来のために、さくら並木の造成を支援します■

「さくら並木プロジェクト」は、津波被害の風化防止と、将来起こりうる津波発生時の避難目標とすることを目的に、**東北の津波到達地にさくらを植樹する、NPO法人さくら並木ネットワークの取り組み**です。

当社はこの活動に賛同し、2014 年より同プロジェクトに参加しています。昨年も、当社の基幹ブランド「ikka」からオーガニックコットンブランド「orgabits（オーガビッツ）」を使用した、**「さくら並木プロジェクト」の支援対象商品を発売**しました。多くのお客さまにお買い上げいただき、2015 年度分として販売額の一部、**約 51,000 円を同プロジェクトへ寄付**いたしました。この金額は**さくらの苗木 3 本分に相当**し、**この度の植樹会ではこのうち 1 本の植樹**を行ないます。残り2本についても植樹地が決定次第、順次寄贈いたします。

当社は今後も、一日も早い東北復興に向け、ファッションを通じた支援活動を継続してまいります。

■植樹会概要■

この度の植樹会は、NPO 法人さくら並木ネットワークの主催で開催されます。海にほど近い福島県新地町に設けられた植樹地にて、同プロジェクト参加者、地元住民の方々と一緒に、**総勢50名以上で約20本のさくらを植えるほか、食事会などを通して親睦・交流を深めます**。また植樹会後には、**仙台市若林区荒浜の視察**を予定しています。震災から5年が経った被災地の「今」に目を向け、支援活動への思いを新たにいたします。

日時	2016年3月26日（土）10時～14時
場所	福島県相馬郡新地町大戸浜神後北1-34
植樹本数	約20本（うち当社寄贈1本）
主催	NPO法人さくら並木ネットワーク
協賛	オーガビッツ

▶昨年の植樹会の様子
宮城県石巻市にて

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ
株式会社コックス　広報グループ　新海　Tel：03-5821-6070（代表）（m-shinkai@cox-online.co.jp）

ikka　ikka LOUNGE　LBC une nouvelle rencontre　CURRENT　VENCE EXCHANGE

ご参考

<コックスの東北復興支援の取り組み>

当社は、東日本大震災の被災地の一日も早い復興を願い、ファッション企業としてできる支援活動に取り組んでおります。今回植樹を行なう**「さくら並木プロジェクト」**へは 2014 年より参加しています。毎年、基幹ブランドの「ikka」より支援付き商品を販売し、本年も２月より、春向けの支援対象商品をメンズ・レディスそれぞれで発売しております。

また、震災時の津波により稲作などが困難になった農地において、「綿」の栽培から紡績・商品化・販売まで一貫して実施する**「東北コットンプロジェクト」**にも参加し、収穫した綿花から商品化された衣料品の販売をしています。（（株）コックスホームページ「社会貢献活動」http://www.cox-online.co.jp/ciqueto/index.html#csr）

※商品の一例

↑専用の下げ札が目印です

「ikka×さくら並木プロジェクト 2016」

商品例：SAKURA レース切替えプルオーバー

価格	3,800円 ＋ 税
カラー	オフホワイト・グレー・ネイビー
サイズ	M・L
特長	オーガニックコットン10%使用。レース使いで女性らしく仕上げた春らしいプルオーバー。切替えのレースが桜の花びらモチーフになっています。

<さくら並木プロジェクト>

さくら並木プロジェクトは、東日本大震災の津波の到達地に、桜を植樹する活動で、ＮＰＯ法人さくら並木ネットワークが行なっています。植樹した桜が美しい並木となり、犠牲となった多くの方々を鎮魂すること、未来まで津波の被害を風化させないこと、未来の津波発生時に避難の目標となって住民の命を守ること、そして将来多くの人が訪れる観光地になり、被災地の経済復興支援となることを願い、記憶に残るさくら並木の造成を目指しています。2014 年より始まった、オーガビッツ×さくら並木プロジェクトの取り組みは、当社のブランド「ikka」をはじめ、様々なアパレルブランドが賛同・参加しています。（http://sakuranamiki.jpn.org/archives/4689.html）

<オーガビッツ>

日本で最も多くのアパレルブランドが参加するオーガニックコットン普及プロジェクト。オーガニックコットン100%にこだわらず10%の商品を100倍の人に届けるという「逆転の発想」で現在約90ブランドが参加し、年間約90万枚のアイテムを生産しています。その活動は原産国農家やＮＰＯ法人の支援へと拡大し、一枚の服を通してお洒落に参加出来る社会貢献活動としても輪が拡がっています。

従来の栽培方法で生産されている綿花には、世界中で使用されている殺虫剤の約15%、農薬の約7%が使用（*出典：Textile Exchange）されており、土壌汚染、環境問題等様々な問題を内包しています。一方、オーガニックコットンとは、農薬や化学肥料を3年以上まったく使用していない農地で、有機栽培された綿花を指します。オーガニックコットンの需要が高まることで、従来の栽培方法による綿花栽培が減少し、上記の問題が改善されていくことが期待されます。（http://orgabits.com/）